

1. 授業の概要(ねらい)

今年度の前期では、アフリカ系アメリカン、ネイティブ・アメリカン、アジア系などマイノリティの作家たちが創り出した多様な作品世界に焦点を当て、これらの作品が持つ特徴をさまざまな角度から考察していく。文学作品のみならず、関連する映画、映像も多数取り上げて、比較研究を行う。おもに20世紀後半以後に書かれた作品を学習することによって、英米文学における新しい傾向と変化について知ることできる。さらに、これらの作品に複雑に織り込まれている人種、ジェンダー、階級の諸要素を考察し、多角的な視点と広い視野を身につけてもらいたい。

2. 授業の到達目標

1. アメリカ文学の基礎的知識を得ることができる。
2. 文学作品を通して、作品が生み出された時代、文化と社会背景について学習することができる。
3. アメリカ文化を人種・宗教・ジェンダーなど多角的視点から考察し、より広い視野を持つことができる。
4. 原作や抜粋を読むことによって、読解力を高め、英語力を育成することができる。

3. 成績評価の方法および基準

出席・中間試験・期末試験・提出物などによる総合評価を行う。
出席・提出物・中間テスト40%、期末試験60%

4. 教科書・参考文献

教科書

授業内容に合わせて、担当教員が作成したプリントと印刷物を配布する。

参考文献

諏訪部浩一 An Introduction to American Literature 三修社

荒このみ 『アフリカン・アメリカンの文学―「私には夢がある」考』 平凡社

Henry Louis Gates Jr., ed. The Norton Anthology of African American Literature. 3rd edition. W. W. Norton, 2014.

鎌田達 『ネイティブ・アメリカン―先住民社会の現在』 岩波新書

5. 準備学修の内容

授業内で扱う原作の抜粋、参考資料、映像作品を必ず予習し、疑問点や興味深い点を書き留め、授業中質問できるようにして下さい。授業内容に対する理解が深まります。授業進度に合わせて、レポートや映像内容のまとめなどの課題を課す予定。

6. その他履修上の注意事項

授業中、作品の抜粋やテキストを英語で読むことを重視しているので、毎週必ず辞書を持参して下さい。偏見を持たずに幅広く世界の歴史、社会と文化に興味を持ってもらいたい。

7. 授業内容

- 【第1回】 Introduction to the course
(授業内容は、受講生の理解度などに応じて授業計画は変更される可能性があります)
- 【第2回】 映画 "Dear White People" (2014)にみる人種差別問題の現状
- 【第3回】 『ビール・ストリートの恋人たち』(If Beale Street Could Talk 1974)1
テキスト抜粋の読解
- 【第4回】 『ビール・ストリートの恋人たち』(If Beale Street Could Talk 1974) 2
Beale Streetと黒人音楽の伝統
- 【第5回】 「ビール・ストリートの恋人たち」(If Beale Street Could Talk 1974) 3
アメリカ司法制度の歪みと家族の絆
- 【第6回】 「ビール・ストリートの恋人たち」(If Beale Street Could Talk 1974) 4
同名映画(2018年)と比較
- 【第7回】 短編小説 "This is what It Means to Say Phoenix, Arizona" 1
テキスト抜粋の読解、居留地と北米先住民の集団記憶
- 【第8回】 短編小説 "This is what It Means to Say Phoenix, Arizona" 2
映画 "Smoke Signals" (1998)との比較
- 【第9回】 Young Adult 向け小説 The Absolutely True Diary of A Part - Time Indian 1
コミュニティからの「逃げ出した」作家の自伝
- 【第10回】 Young Adult 向け小説 The Absolutely True Diary of A Part - Time Indian 2
コミュニティからの「逃げ出した」作家の自伝
- 【第11回】 映画「ヒマラヤ杉に降る雪」(Snow Falling on Cedars 1999)
第二次世界大戦中の日系アメリカ人の経験
- 【第12回】 Hisaye Yamamoto, 短編小説 "Seventeen Syllables" (1949)
俳句と強制収容と移民の世代間理解
- 【第13回】 『屋根裏の仏様』(The Buddha in the Attic 2011)
言葉とアイデンティティとの関係
- 【第14回】 『ジョイ・ラック・クラブ』(The Joy Luck Club 1989)
食と中国系アメリカ人のアイデンティティ
- 【第15回】 Review and Final Exam